

今年の冬は寒さもひとしおでしたが、梅の開花の便りが届く季節となり、ようやく春めいて参りました。新型コロナウイルス感染症が国内で確認されて1年がたちますが、ワクチンや治療薬の開発は進んだものの依然として感染拡大が続く、収束への道筋は見えず皆様に於かれましては、何かとご不便な生活をしいられていらっしゃるのではないのでしょうか。

私もコロナ禍の制限で、余儀ない活動をしております。

震災の復興も3月11日で満10年を迎え、ハード面の事業については、あらかた目処がつけました。ソフト面対応として国は、復興庁を存続させる方針を固めました。

ハードの復興事業費は、20年度末までの10年間と比べ大幅に縮小しますが、来年以降の国からの支援の在り方や必要な財源確保が示されました。

令和元年12月より、地域再生・活性化対策調査特別委員会の委員長に指名を受け活動しておりました。この様な状況下で満足な調査活動が出来ませんでしたが、一応の報告としてまとめ上げることができ安堵いたしました。

何かと不便の多い昨今ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が取り戻せるよう心から願っております。

春とともに皆さまの上にも幸せが訪れますようご祈念いたします。

宮城県議会議員 わたなべ 忠悦

(特別委員会委員長報告)

トピックス 宮城県の令和3年度主食用米「生産の目安」について

農林水産委員会配布資料

宮城県農業再生協議会は11月24日に総会を開催し、令和3年度主食用米「生産の目安」を33万7,133トン(面積換算6万2,538ha)に設定しました。

令和3年度「生産の目安」は、令和2年度生産量に比べて約1万9,000トン、作付面積で約2,000haの減少となり、「生産の目安」設定以降最大の減産になります。

令和3年度主食用米「生産の目安」と令和2年度との比較

令和3年度主食用米「生産の目安」	令和2年度米		増減 ①-②
	生産の目安	実生産②	
宮城県	337,133 トン	348,702 トン	▲ 18,867 トン
	62,538 ha	64,796 ha	▲ 1,962 ha



令和3年度主食用米地域再生協議会別「生産の目安」

地域協議会	生産の目安	面積目換算値
登米市	53,577 トン	9,449 ha

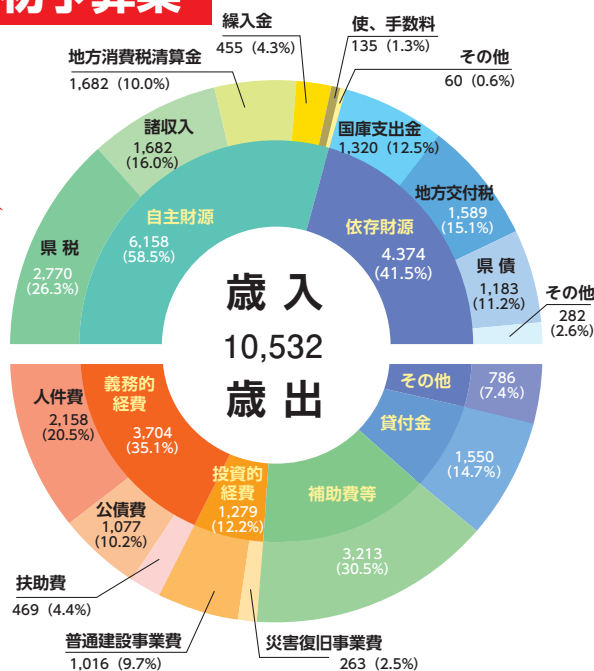
今後、地域農業再生協議会及び関係機関と連携し、収益性の高い園芸作物への作付誘導と、大豆や飼料用米等への転換を推進し、「生産の目安」に基づく生産に取り組んでいきます。

令和3年度当初予算案

記者発表資料付属資料 令和3年2月 総務部財政課

一般会計

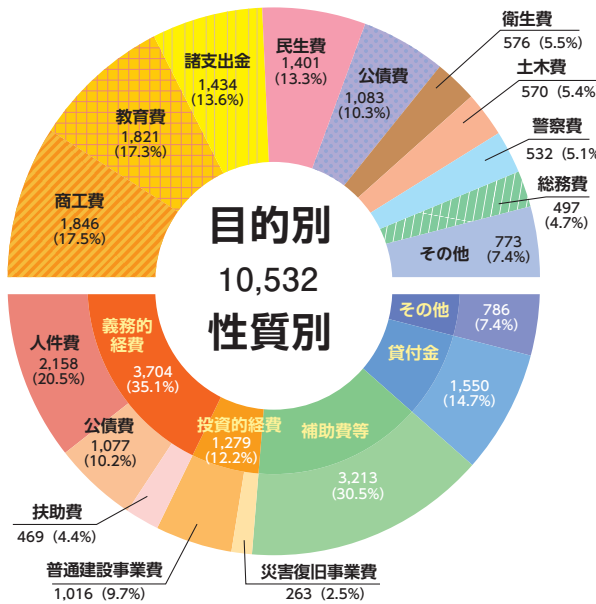
単位：億円



※令和3年2月定例会で知事より示され、3月19日の閉会まで審議される予定です。

目的別 性質別

10,532



一般会計 歳出予算 の構成

単位：億円

※四捨五入のため内訳が合計と一致しない場合があります。

令和2年8月 農林水産委員会

主な一般質問要旨 & 回答要旨

担い手への農地利用集積率について



質 問

当初この事業は90%の目標だったはずですが、かなり難しい数字だと思っておりましたが、平成29年、平成30年はほんの少しの伸びしか見込めておりません、主な問題や原因をどのように認識しておられますか。

【答弁】 農政部長

ある程度の面積が出てしまったというのが1つの要因だと思っています。基盤整備の事業の中でも農地中間管理事業を使ったような場合には、生産者の、受益者の農家の負担がほぼなくなるような事業もつくっています。農家を引き受けてくれるような法人だとか地域の集落営農みたいな方に引き継いでいくということを、更にてこ入れしていかなければならないのかなと考えています。

農業問題 - 農地活用



農地の無駄のない活用へ更なる対策を

令和2年9月 予算特別委員会

財政について



質 問

国の概算要求によると地方交付税など減少する一方、歳出は、震災からの復興・復旧に加え、新型コロナウイルス等の対応で支出は減少しない中、本県の来年度の財政状況をお示してください。

【答弁】 村井知事

歳入は復興需要の収束に伴い、税収入が減少傾向にあったところに新型コロナウイルス感染症の影響が加わり、地方税や地方交付税が大きく減収するものと見込んでおります。一方、歳出では、社会保障関係経費や公共施設等の老朽化対策の経費の増加のほか、感染症対策などの財政需要も見込まれ、県財政を取り巻く環境は一層厳しさを増すものと考えております。

コロナ禍 - 県の財政

コロナ禍での倒産、廃業について



質 問

このコロナ禍で行政の財政的支援により、倒産や廃業が抑制されているとの報道がある一方で、一定数の企業が廃業を検討しているとも言われていますが、認識はいかがですか。

【答弁】 経済商工観光部長

国、地方公共団体、金融機関などからの各種支援策やセーフティーネット保証制度が奏功したものの、県内企業を取り巻く環境は依然厳しく、引き続き予断を許さない状況が続いていると認識しております。

コロナ禍 - 企業の現状



コロナ禍で客のいない飲食店。コロナが長引けば財政支援でも解決は難しくなる。

令和2年11月 予算特別委員会

県産材消費拡大について



質 問

県産材は、公共施設やCLT（直交集成板）活用建築物での利用など機能や用途の拡大が図られており、各種特性等に応じた製品開発や販売促進に対する支援が必要と思いますがどうお考えですか。

【答弁】 村井知事

協議会の活動を継続的に支援するとともに、協議会のプロジェクトの中で、用途に応じた新たな県産材製品の開発や、会員企業等の流通・販売ルートの活動などを通じて更なる需要創出を図って参ります。

林業問題 - 県産材販売



県産材の幅広い魅力を拡散する必要がある。

活動アルバム

コロナ禍で視察等を制限されるなか、各委員会では活発な討議が繰り返されました。



地域再生対策調査特別委員会にて委員長として発言中



本会議場での委員長報告



予算特別委員会総括質疑にて

お問い合わせ

宮城県議会議員 わたなべ忠悦事務所
所在地：〒987-0511 登米市迫町佐沼字大網 534
TEL：0220-23-7757 FAX：23-7838
E-Mail：tkdmg013@ybb.ne.jp

オフィシャルウェブサイト <http://watanabe-chuetsu.jp>

渡辺 忠悦

検索

近所にお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。
どんな小さなことでもよろしいのでお話を聞かせ下さい。

